

公式記録



(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

令和3年度兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技 決勝 【 160 】

日時	2021年6月6日(日) 13:00 キックオフ					会場	神戸ユニバー記念競技場													
天候	晴れ	風	微風	ピッチ	(天然芝)・人工芝・クレー	状態	良好	試合形式	70分 / 延長 20分 / PK戦有											
運営責任者	笠原 弘樹		会場主任	石塚 俊一		記録	芝切 淳 / 渡邊 悠		観衆	一人										
主審	寺岡 大輔		副審1	山本 学史		副審2	大槻 隼人		第4の審判員	田中 章裕										
チーム名	報徳学園高校					kick off	関西学院高等部													
	0						1													
	選手番号 PK戦						選手番号 PK戦													
	先 O X						先 O X													
交代	シュート				選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	シュート			交代						
No.	OUT時間	延後	延前	後半	前半						前半	後半	延前	延後	OUT時間	No.				
	分					櫻井 啓太 3年 1	GK	GK	30	斎藤 慎之助 3年					分					
	分			1		林 琉樹 3年 23	DF	DF	37	紀伊野 敬大 3年		1*			分					
	分					坂元 一太 3年 14	DF	DF	65	東 昂希 3年					分					
	分					山崎 純平 2年 26	DF	DF	79	鈴木 康生 2年					分					
	分					吉崎 音羽 3年 4	DF	DF	43	上田 勇徳 3年					分					
	分					岸本 颯太 3年 62	MF	MF	66	西谷 京祐 3年	2	1			分					
HT	分					松本 一輝 2年 25	MF	MF	77	岩崎 陸歩 2年	1				分					
	56分			1		筒井 翔太 3年 11	MF	MF	78	安野 徹雄 2年		1			分					
	分					船越 大空 3年 18	MF	MF	61	田村 亮弥 3年					分					
	分				1	坂元 一落璃 2年 8	FW	FW	11	奥田 和翔 1年	1	1			70-3	分				
	分			2	1	久富 陸斗 3年 5	FW	FW	80	富江 航世 2年					分					
	分					長村 未都 2年 21	GK	GK	40	増田 樹 2年					分					
	分					山本 征汰 3年 6	DF	DF	6	八田 蓮成斗 1年					分					
	分					大野 匠 3年 9	DF	DF	62	板村 渚 3年					分					
	分					尾形 蓮 3年 15	MF	DF	93	金谷 康作 2年					分					
	分					瀧田 隼人 2年 20	MF	MF	14	岸本 晴大 1年					分					
11	分					樋口 虎太郎 3年 27	MF	MF	81	伊東 直哉 2年					分					
	分					岡本 直優 3年 16	FW	FW	9	村田 琉太 1年					分					
	分					今西 悠貴 2年 22	FW	FW	34	五十嵐 太郎 3年					分	11				
25	分					淡路 丈翔 3年 36	FW	FW	74	河崎 温人 3年					分					
時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
分					6			4	2	シュート	4	4			8	分				
分					14			6	8	GK	4	3			7	分				
分					5			2	3	CK	1	2			3	分				
分					9			3	6	直接FK	3	4			7	分				
分					1			1	0	間接FK	0	0			0	分				
分					0			0	0	PK	0	0			0	分				
[警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 [退場事由] 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2																				
得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過] 略号例:ドリブル~・ゴロのパス→・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS														
	70+1分	関学	37	紀伊野	0-1	右CK 77 → 中央 37 S														
	分				-															
	分				-															
	分				-															
	分				-															
	分				-															
	分				-															
	分				-															
戦評	戦評者 所属【 県伊丹・西脇工 】 氏名【 米本・川口 】																			
	報徳1-4-1-4-1、関学1-4-4-2でスタート。報徳は、62番岸本がセンターバックの間に降りてボールを受け、両サイドバックが高い位置を取り、攻撃を仕掛ける。一方、関学は、前線に素早くボールを入れ、セカンドボールを回収し左サイドの61番田村が積極的にドリブル突破を仕掛け、チャンスを作り出そうとする。互いに、集中力の高い守備で、決定機を作らせず、スコアレスで前半を折り返す。報徳は、HTに選手交代で36番淡路が左サイドに入り、18番船越がトップ下にポジションを変え、連動したパス回しで主導権を握る。それに対し、守備の時間が続く関学であるが65番東と43番上田を中心に粘り強く守り、報徳に決定機を与えずにいると、セットプレーを中心に少しずつ関学のペースになる。延長に入るかと思われた後半AT、報徳の隙を突いたコーナーキックから37番紀伊野が右足を振り抜き試合を決定づける。決勝戦に相応しい緊張感のある試合展開であった。関学には、兵庫県を代表して全国大会での活躍に期待する。																			
[備考] 新型コロナウイルス感染予防対策のため、無観客での試合開催																				